

6. 学術情報センター

学術情報センター長	南沢 享 (細胞生理学講座)	(2016年4月から)
学術情報センター図書館国領分館長	三崎 和志 (医学科)	(2019年4月～2022年3月)
学術情報センター標本館委員会委員長	橋本 尚詞 (解剖学講座)	(2008年4月～2022年3月)
学術情報センター国際交流センター長	芦田 ルリ (国際交流センター)	(2017年4月～2022年3月)

1) 2021年度統計 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 図書館

① 蔵書冊数	261,412冊
② 現在受入雑誌数	585種 (和516種、洋69種)
③ 電子ジャーナル提供数	9,877種
④ 館外貸出冊数	4,685冊
⑤ 入館者数	38,665名
⑥ 他学との文献相互貸借数	貸出882件 借受1,167件
⑦ 複写サービス	15,770枚 (代行複写、国領・葛飾・第三・柏へのFAX送信、相互貸借 (他館))
⑧ 情報検索サービス	111,032件 (代行とセルフサービスの合計)
⑨ 所蔵視聴覚資料	ビデオ・プログラム 924セット
	スライド・プログラム 5セット
	16mmフィルム 37セット
	語学プログラム 206セット
	その他 53セット

(2) 国領分館

① 蔵書冊数	92,719冊
② 現在受入雑誌数	190種 (和153種、洋37種)
③ 館外貸出冊数	2,447冊 (視聴覚資料含む)
④ 複写サービス	151件 (西新橋・葛飾・柏へのFAX送信相互貸借 (他館))

(3) 標本館

① 所蔵標本数	マクロ標本 1,821点
	顕微鏡標本 2,549点
② 見学者数	56名 (学内26名、学外30名)

(4) 史料室

① 所蔵史料	3,162点
② 見学者数	1名 (学内 0名、学外 1名)

(5) 写真室

① 撮影・スライド作成	144件 (2,103枚)
② ビデオ編集	114件 (838時間)
③ カラープリント出力 (ポスター作成含む)	122件 (1,896枚)
④ 35mmスライドのデジタル化	1件 (66枚)

(6) 国際交流センター

① 海外選択実習	
派遣	医学科生 0名 看護学科生 0名
受入	医学科生 0名 看護学科生 0名

- ② International Café（海外からの選択実習生と本学学生・教職員との交流会）
開催：1回 ※Zoomによるオンライン開催
- ③ 医学科学生の英語医療面接実習
開催：1年生 2回、4・5年生 6回
- ④ 看護学科学生の英語医療面接実習
開催：3年生 2回

2) 主な事項

(1) 教育・研究年報に関すること

- ① 『東京慈恵会医科大学教育・研究年報2020年度版（第40号）』、『Research Activities』の編集

両年報とも発行内容が変更されることとなった。『教育・研究年報』は、研究業績の項目種類と掲載件数を増やし、プリント版を中止してPDF版のみの発行となり、2021年1月に発行された。『Research Activities』は、数年に1回の発行とし、図表を交え本学の研究活動を簡潔に紹介する形式に変更し、各講座・研究施設に原稿の執筆依頼をした（発行は2022年度の予定）。

(2) 図書館システムの管理に関すること

- ① 図書館システムの運用

3月にバージョンアップがあり、提供元の株式会社リコーの担当者と各種調整を進めた。バージョンアップにより、資料検索や業務作業の機能、操作性に改善が図られ、実運用に反映できるように調整を進めた。2020年度に引き続き、学生の来館事前予約のネットワーク受付、入館者数管理に図書館システムの機能を活用した。

(3) 図書・雑誌等の情報管理、情報サービスに関すること

- ① ネットワークを介した情報提供

電子ジャーナルと医学関連データベースをネットワーク経由で利用できる環境を維持した。データベースに新規データが追加された際に電子メールにて通知するAutoAlertサービスを継続している。また、新聞（全国紙）4紙から医療及び大学関係の記事の見出しを学内約90部署に電子メールで配信するサービスも継続した（2004年12月開始）。学内への新聞記事見出し配信について、商用サービスの利用を含めた他の方法への変更案も出されたが、広報課との協議の結果、当面は現状の学術情報センターからの配信を継続することとなった。

国領分館では、2020年度に導入した電子ブック約140点（Maruzen eBook Library（丸善雄松堂））の利用を継続し、2021年度は約60点を追加契約した。また遠隔授業用教材として国内出版化学書データベース（日本化学会編 化学書資料館（丸善出版））と医学・看護学映像教材配信サービス（Educational Video Online（丸善出版））を契約した。

- ② リモートアクセスサービスの提供

大学ネットワーク上で利用可能となっている電子ジャーナル、データベースを学外（自宅や派遣先）からアクセスするための「リモートアクセスサービス」（2009年度開始）の利用者登録とサポート作業を継続した。2021年度の新規登録者は659名であった（2020年度474名）。

- ③ 大量ダウンロードによる電子ジャーナルの利用停止

国内電子ジャーナル約1,400誌のパッケージであるメディカルオンラインの利用において、同一誌から規約で定められている制限を超えたダウンロード（大量ダウンロード）が頻発したため、8～11月に、本学におけるメディカルオンライン全体の利用が4回停止となった。規約違反が生じた際に、該当利用者を特定して連絡することができるようにするために、12月下旬から、当面、メディカルオンラインへの接続はID/パスワード認証とすることとした。

(4) 利用者支援・指導に関すること

① メディカルライティングオフィスの設置

学内における論文作成支援体制を強化することを目的として、学術情報センター内の医学英語研究室がメディカルライティングオフィスに改組され、英語による論文作成の相談窓口を担当することとなった（定例理事会（2021年9月30日）認可）。

② 医学部学生の演習の担当

医学科1年生の「情報検索演習」、2年生の「医学総論」、3年生「医学統計学Ⅱ演習」、看護学科1年生の「総合演習」、3年生の「研究方法論:文献検索実習」での情報検索演習、看護学科1年生の図書館オリエンテーションを担当した。なお、いずれもeラーニングによる実施となった。

③ 教職員等を対象とした情報検索演習

例年開催している教職員を対象とした対面でのデータベース講習会の実施は中止とした。歯科研修医を対象とした情報検索演習は、対面で、密を避けて実施した（4月28日 参加者4名）。

臨床意思決定支援システムUpToDateのオンラインセミナーを提供元のウォルターズ・クルワー社の担当者と企画、開催した（12月17日 参加者4名、12月27日 参加者9名、1月13日 参加者12名、1月19日 参加者8名）。

④ 医学論文書きかた講習会の開催

Jikeikai Medical Journal編集委員会と東京慈恵会医科大学雑誌編集委員会の共催による講習会を企画した。大学院共通カリキュラムの必須科目「医学研究概論」を兼ねた公開講義であるため、講習内容のeラーニングシステムへの登録は学事課にて対応した。4名の講師からの講習は、4月19日から2月末まで受講可能であり、受講者は全体で105名であった。

- ・「医学論文の書きかた講習会」

 - 志賀 剛教授（臨床薬理学講座）

- ・「医学論文書きかた講習会」

 - 吉村道博教授（内科学講座）

- ・「The Structures and Improvements of Medical Article Sections」

 - 岡崎真雄教授（学術情報センター医学英語研究室）

- ・「How to write a medical research paper」

 - アラン・ハウク教授（英語研究室）

(5) 総合展示に関すること

① 総合展示の開催（退任教授によるオンライン特別発表）

ポスター展示は中止し、1月25日～2月12日に、5名の退任教授による特別発表をeラーニングにて開催した。

- ・「東京慈恵会医科大学への思い」

 - 立花利公教授（総合医科学研究センター・基盤研究施設）

- ・「共焦点レーザー顕微鏡と伴に－慈恵医大で過ごした32年－」

 - 橋本尚詞教授（解剖学講座）

- ・「健診業務・研究を通しての医師法第1条」

 - 和田高士教授（大学直属）

- ・「プロテオミクスによるライソゾーム病細胞継代の影響の探求」

 - 岩本武夫教授（総合医科学研究センター・基盤研究施設）

- ・「A Survey of Cases in Emergency Rooms to Create Educational Scenarios for Cultural Awareness Training」

 - 芦田ルリ教授（学術情報センター・国際交流センター）

(6) 画像データ等コンピュータ・サービスに関すること

① 教材・研究資料の作成支援

学生・教職員、同窓生を対象として、静止画・動画の撮影、画像データのデジタル編集、ポスター作成、ビデオ編集、35mmスライドのデジタル化の各サービスを実施した。学会開催中止に伴い、ポスター作成は93件であった(2019年度584件、2020年度57件)。また、公的行事、各種セミナーのリモート開催に伴い、ビデオメッセージ、YouTube配信動画、eラーニング教材の撮影及び編集を担当した。

(7) 学術リポジトリに関すること

① 学術リポジトリの運用

本学発行人物(『東京慈恵会医科大学雑誌』、『Jikeikai Medical Journal』、『教育・研究年報』、『Research Activities』)の掲載記事、本学の歴史に関する出版物、本学教員学術論文(学外発行誌掲載含む)の学術リポジトリへの登録を担当した。

2021年度の学術リポジトリへの登録は131件(JMJ・慈恵医大誌のみ)、閲覧は71,345件であった。

② 学位論文に関する著作権調査

学位論文に係る著作権処理(学位論文の学術リポジトリ登録に係る著作権処理を含む)についての問合せへの対応を担当した。

(8) 広報活動支援に関すること

① 本学教員の研究業績公開

研究推進課、広報課、その他関連部署との連携により、教員ごとの研究実績を、researchmapを利用して、9月をめぐりに公開することとなり、学術情報センターは、researchmapへのデータ入力に関する問合せへの対応を担当した。

② 学内行事の写真撮影

学内の各種行事の写真撮影を担当した。また、撮影した写真を広報活動で活用できるように、写真画像データを保管し、提供した。

③ 学内行事のポスター、配布物の作成への協力

「学祖高木兼寛没後100年記念講演会(12月2日)」、「岡村哲夫先生を偲ぶ会(11月27日)」における展示物の作成、また、ポスター、展示物、配布物への写真掲載や転載に関わる許諾手続きを担当した。

(9) 国際交流センターに関すること

① 海外での学習、発表等に対する奨学金や助成金の支給に関する業務を担当した。

・学外研究員 2020年度選考者1名365万円、2021年度選考者1名365万円

2022年度学外研究員について、国際交流センター運営委員会にて選考した候補者と選考過程を学長に報告し、学長により決定された。

(10) その他学術情報センター業務に関すること

① Turnitin Feedback Studioの利用

剽窃・盗用防止の意識を高めることを目的として、2016年度に大学にて導入されたオリジナルライティング教育支援ツールTurnitin Feedback Studioに関して、医学科・看護学科の授業における利用のサポート、学内教員の利用登録を担当した。

② 図書館環境整備について

図書館内の無線LAN(Wi-Fi)の電波を強化するため、書庫2～4階へのアクセスポイント追加設置工事を3月に実施した。

グループ学習室の利用再開にあたり、空気清浄機3台とアクリル板を設置した。

③ 高木会館4階の学生利用

6月から高木会館4階3室を学生学習スペースとしたほか、9～11月は2室を医学科2年解剖学実習時の更衣室として利用した。なお、感染対策として、1月25日から3室の学生学習スペース利用を中止した。

④ 史料室展示ケース内の展示物のカビ対応
2019年9月に史料室展示ケース内に保管していた学祖遺品18点（礼服、色紙、賞状、勲章、書幅ほか）にカビが発生したため、2020年4月から定湿トランクルーム（大手町・三井倉庫株式会社）にて保管した。7～10月に展示ケースのカビ対策空調システム設置工事、11～12月に展示室内のカビ菌浮遊調査、展示室内の清掃を実施した後、12月下旬に学祖遺品18点を展示ケースに戻した。3月末まで、空調システムの安定稼働のための調整作業が続いた。

⑤ 標本画像提供方針の確認
教育関係出版社からネットワーク配信教材に掲載する標本画像の提供依頼を受けるため、「人体および人体標本を用いた医学・歯学の教育と研究における倫理的問題に関する提言（日本解剖学会、日本病理学会、日本法医学会）（2013年8月）」が出された後、標本館では、本人のご遺志及びご家族のご協力により無償提供された標本とその画像について、営利団体への提供や不特定多数の方への公開を控えるという方針としていることを確認した。

⑥ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館、開館時間の変更

図書館（西新橋本館）：

4月1日～6月30日

月～金 9：00～20：00（通常8：00～22：00）

土 9：00～19：00（通常8：00～19：00）

日 閉館（通常日曜開館・祝 試験期間のみ開館）

7月1日～9月12日

月～金 8：00～20：30（通常8：00～22：00）

土 8：00～19：00（通常8：00～19：00）

日 9：00～17：00

祝 9：00～17：00（7～8月）（通常9：00～17：00・祝 試験期間のみ開館）

・7月1日～9日は、月～金 8：00～22：00

9月13日以降

月～金 8：00～22：00（通常8：00～22：00）

土 8：00～19：00（通常8：00～19：00）

日 9：00～17：00

祝 9：00～17：00（11～12月）（通常9：00～17：00・祝 試験期間のみ開館）

※ 4月19日以降は学生の来館事前予約を不要とした。

※ 使用可能な机は80席、個室・グループ学習室の利用は1室1名のみ。

図書館（国領分館）：

4月1日～9月30日

月～金 9：00～19：00（通常9：00～20：30（8月9：00～19：30））

土 9：00～17：30（通常9：00～17：30） 日 閉館（通常 日 閉館）

10月1日以降

月～金 9：00～20：30（通常9：00～20：30）

土 9：00～17：30（通常9：00～17：30） 日 閉館（通常 日 閉館）

※ 7月1日以降は学生の来館事前予約を不要とした。

標本館：見学は事前予約制（1時間ごとの入館で、1回につき10名未満のグループ）

写真室：受付 月～金 9：30～17：00（通常 月～土 9：00～17：30）

史料室：見学は事前予約制7月～1月 展示ケース工事のため休室とした。